

第15回 CSW インターン募集

2018年国連女性の地位委員会(CSW62)へ 派遣する女性インターン募集



特定非営利活動法人日本BPW連合会

日本BPW連合会では、国際問題に関心を持つ大学生または30歳以下の女性を対象に、毎年ニューヨークの国連本部で開催される、女性の地位委員会(CSW)に派遣するインターンを募集しています。これは、日本BPW連合会が加盟するBPW International(BPWI)が、国連の「諮問的地位」を有する団体であることにより、可能になるもので、2003年のインターン派遣事業開始から、今回は第15回の派遣となります。

2018年派遣インターン募集要項

募集目的 国際問題・国連問題・女性問題に関心を持つ、あるいは将来その方面で活躍したいと願う若い女性を支援する目的で行われるもので、国連本部内及びその周辺で行われる様々な関連行事への参加を通して、若い世代の国際的な感覚・知識の育成を目指しています。2018年第62回女性の地位委員会の優先テーマは「Challenges and opportunities in achieving gender equality and the empowerment of rural women and girls; (仮訳：農村女性と女兒のジェンダー平等とエンパワーメントに係る課題と展望)」です。

期 間 第62回国連女性の地位委員会は、2018年3月12日(月)から23日(金)の日程で開催されます。登録・事前のイベント、BPWインターンの顔合わせなどの都合で、開始前の前々日(10日)に到着するのが好ましく※、滞在は10日以上を期待します。※直前にユースを対象としたプログラムが設定され募集が公表される場合があります。

- 6つの特典**
- CSWの会議と平行して行われる様々なイベントやワークショップに参加し、発言し、意見を述べるすることができます。
 - BPW インターナショナル主催の各種活動(ワークショップ、交流会、夕食会など)に参加して、各国のBPWIメンバーと交流ができます(BPWIとの交流の有料部分はBPW一部負担)。
 - 国連やCSWに関する説明や解説を事前あるいは現地ですることができます。
 - 日本政府代表部がおこなう公式説明会に参加できます。
 - 世界各国の女性団体の方と交流できます。
 - 国際関係・女性問題関係を専攻する女子学生には、論文作成などのための最前線の資料が入手できます。

募集対象 国際問題、女性問題、国連に関心を持つ20歳以上の、大学生または30歳以下の女性、若干名。NYでは、現地ブリーフィングへの参加など、インターン活動を優先していただける方。帰国後は、報告書を作成し日本BPW連合会に提出いただく他、BPWが企画するイベント(報告会・企業との意見交換会・各地のBPW活動)などに参加いただける方。将来ヤングBPWのメンバーとしてBPWの活動に参加できる方。

費用 航空運賃・宿泊費・生活費は自己負担。海外旅行保険も自己負担になりますが必ずご加入ください。また、NGOブリーフィングや食事会、有料イベントへの登録料は各自負担になります。但し、BPWが行うイベント(夕食会他)への参加費の一部はBPWが負担します。

応募方法 E-mailにて、応募必要事項記載の上、小論文(応募動機および国際問題・女性問題・国連に関するあなたの意見を日本語および英語で述べて下さい。「日本語で1000字前後、英語で500words以内」を添付の上送信。

応募・問合せ csw2018@bpw-japan.jp(日本BPW連合会インターン担当)件名「UN-CSW インターン」と記載してください。

応募〆切 2017年10月10日(火)

結果発表 2017年11月10日(金)

BPWのホームページも参照ください <http://www.bpw-japan.jp/japanese/csw.html>



BPWとは? Business and Professional Womenの略で、日本BPW連合会は、NPOとして、職業を持つ女性たちの地位向上や、格差是正、そして女性の力による世界の紛争防止や、自然災害での被害削減をもとめて可能な開発と平和にむけて、国内及び国外の働く女性と共同して活動している女性団体です。日本BPW連合会が加盟するBPW Internationalは、国連の経済社会理事会の諮問機関として一般協議資格をもつ組織で、世界の100以上の国と地域が加盟しています。

日本BPW連合会は1958年に創立。現在16の地域単位のクラブ・アソシエーツで構成され、各クラブは、BPWIの方針に添った統一テーマを基本に、独自の活動及び情報の交換や交流も活発におこなわれております。毎年5月または6月に、BPW全国大会を開催し、ヤングスピーチコンテスト最終選考大会や、働く女性に関するワークショップなどを行うほか、内閣府男女共同参画局との共催シンポジウムなどを実施しています。2009年9月に法人化し、特定非営利活動法人日本BPW連合会となりました。

問い合わせ & 応募先	E-mail	csw2018@bpw-japan.jp (日本 BPW 連合会インターン担当) 件名「UN-CSW インターン応募」と記載してください * お問い合わせ及び応募は上記 e-mail にて受付しております。
応募方法	応募メール への必須情報	氏名 / (ふりがな) 住所 〒 / 連絡先 電話 / メールアドレス 生年月日 19 年 月 日生 所 属/大学(学部・専攻)又は職業 履歴 高校卒業以後の履歴(学歴・職歴等) 滞在可能期間(予定) 備考 応募にあたって、疑問点などあれば、お書き下さい。 応募メール本文または、添付ファイルに記載願います
	添付書類	小論文「応募動機及び国際問題、または女性問題、あるいは国連に関する意見」 日本語で 1000 字前後、英語で 500words 以内 ※日本語・英語の両方の論文を(word あるいは text ファイルでメールに添付)して 提出して下さい。
参考	選考にあたり、電話インタビューまたは面談などを行う場合があります 募集要領・メールフォームは、下記にも掲載します http://www.bpw-japan.jp/japanese/csw.html	
	BPW の詳細についてお知りになりたい方は、こちらのホームページをご覧ください http://www.bpw-japan.jp (日本 BPW 連合会) www.bpw-international.org (BPW International)	

CSW-インターン参加者の声(2017年14期生報告書からの一部抜粋)

■今回私が参加した目的は、日本以外の世界中の人々が女性問題に関してどのように考え、NGO等の組織がどのような活動を行っているのか直接見たいと考えたからだ。実際に参加して、世界中の女性問題の実態と活動内容を知ることができた。そして何よりも集まった人々の情熱や行動力に圧倒された。日本では女性問題を取り上げるとフェミニストと敬遠される傾向があるが、自分が感じる問題を恐れずに声をあげ、行動していこうと思う。



■高校時代から国際開発の分野に興味を持ち、国連で働くことをずっと夢見てきた私にとって、CSW61の2週間は夢のようなひとときで、2週間とは思えないほど密度の濃い日々を送った。今回得た一番大きな気付きは、他の誰かが社会を変えてくれるのを待っているのは駄目だということ。自分が理想とする男女平等な社会を実現するためには、他人の目を恐れずに、自分の信念をしっかりと体現し、自分の姿勢・生き方で訴えることが如何に大切か学んだ。

■私にとってこの2週間は、学生生活の集大成であり今後の指針となる出来事であった。IT技術が女性のエンパワーメントやSDGsの達成に大きく関与していると実感したためである。4月からはIT系の技術者として女性のみならず、社会の人々の可能性を広げられるよう励んでいきたい。最後にこのような機会を与えていただいた皆様に感謝申し上げます。

■CSW61に参加した2週間で、国際社会におけるNGOの役割を学び、ジェンダー問題の解決に取り組む世界中の人々と交流することができた。また、世界の女性が抱える問題は自分の問題でもあることを再認識し、自分の将来についても考えさせられた。CSW61を終え考えることは、完璧な男女平等への道のりは遠いが、ガラスの天井にひびが入り始めているということだ。

■CSW61に参加して、ジェンダー平等になることは女性だけでなく男性や社会にもメリットがあるということを学ぶことができた。ジェンダー平等という考えが男性を敵視している考え方であると誤解されている日本にこの考え方は必要だと思った。ジェンダー問題に取り組む1人として、日本人として、そして国際社会に住むものの1人として、今後活動していくために非常に重要な2週間だった。